

# 三重県共有デジタル地図

## 【小縮尺地図データ更新手順書】

Ver2.1

平成 25 年 6 月

共有デジタル地図共同企業体

1. 更新に対する基本的な考え方 .....	- 1 -
2. 更新対象 .....	- 1 -
3. 更新資料 .....	- 1 -
4. 更新方法 .....	- 1 -
5. 編集基準 .....	- 2 -
5.1 境界 .....	- 2 -
3.1.1 境界等 .....	- 2 -
5.2 交通施設 .....	- 3 -
5.2.1 道路 .....	- 3 -
5.2.2 道路施設 .....	- 3 -
5.2.3 鉄道 .....	- 4 -
5.2.4 鉄道施設 .....	- 4 -
5.3 建物等 .....	- 4 -
5.3.1 建物 .....	- 4 -
5.3.2 建物付属物 .....	- 4 -
5.4 建物等 .....	- 5 -
5.4.1 建物記号 .....	- 5 -
5.5 小物体 .....	- 6 -
5.5.1 小物体 .....	- 6 -
5.6 水部等 .....	- 6 -
5.6.1 水部 .....	- 6 -
5.6.2 水部に関する構造物 .....	- 7 -
5.7 構囲等 .....	- 7 -
5.7.1 構囲等 .....	- 7 -
5.8 場地 .....	- 8 -
5.8.1 場地 .....	- 8 -
5.9 植生 .....	- 8 -
5.9.1 植生 .....	- 8 -
5.10 地形 .....	- 9 -
5.10.1 等高線 .....	- 9 -
5.10.2 変形地 .....	- 9 -
5.11 基準点 .....	- 9 -
5.11.1 基準点 .....	- 9 -
5.12 注記 .....	- 10 -

5.12.1 注記 .....	- 10 -
<b>5.13 境界補助線（2500DM特記コード） .....</b>	<b>- 11 -</b>
5.13.1 境界補助線 .....	- 11 -
<b>5.14 セントロイド（2500DM特記コード） .....</b>	<b>- 11 -</b>
5.14.1 セントロイド .....	- 11 -
<b>6. DM データファイルの仕様 .....</b>	<b>- 12 -</b>
6.1 インデックスレコード .....	- 12 -
6.2 図郭レコード .....	- 14 -

## 1. 更新に対する基本的な考え方

小縮尺地図データの更新当たっては、作成経緯として 1/2500 共有デジタル地図データをベースに 1/10000 地形図として表現する上で必要な地形地物を取捨選択・編纂等を行い作成していることから、成果品質・精度確保の観点から基本的に、1/2500 共有デジタル地図と同レベルの原点資料から更新を行うこととする。

## 2. 更新対象

作成時点以降の経年変化として、その地域を代表する大規模施設、幹線道路等を中心とした、1/10000 地形図を利用する上で目標物となりうる地形地物を更新対象とする。

- ① 主要幹線道路（高速道路・国道・主要地方道・県道・市道）
- ② 主要公共施設
- ③ 大規模商業施設
- ④ その他必要と判断された地形

## 3. 更新資料

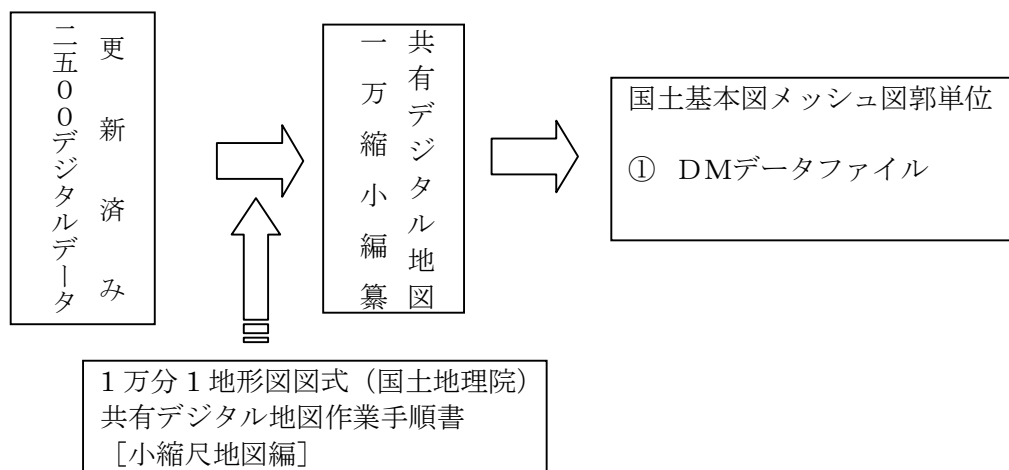
更新に使用する原点資料は、1/2500 共有デジタル地図と同レベルの資料を利用することから以下の条件を満足した資料とする。

- ① 縮尺は 1/2500 以上（大縮尺地図）であること。
- ② 公共座標（世界測地系）を持ったデジタルデータであること。
- ③ 国土地理院へ申請済みの成果であること。

## 4. 更新方法

更新方法としては、更新箇所の原点資料より、小縮尺地図における新規作成要領に準拠して、対象箇所毎に編纂作業を行い、データの更新を行うものとする。

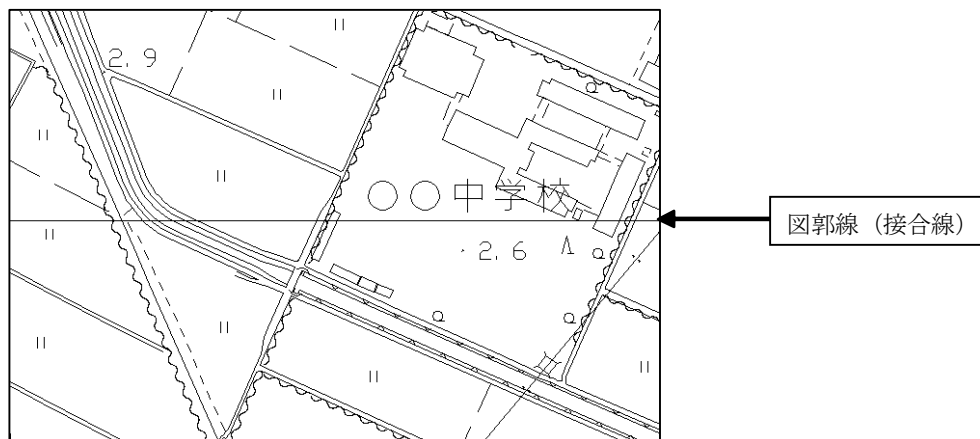
[作業フロー]



[特記仕様]

国土基本図メッシュ図郭単位で作成するデータは、任意のどこで図郭の切り出しを行っても地物（注記・記号）の重複取得が発生しないように、図郭線上で跨る注記・記号については、片方の図郭のみで取得することとする。なお、行政名・線状注記（道路・河川・道）については、各図郭単位で適切に取得することとする。

図郭線上の取得イメージ



## 5. 編纂基準

### 5.1 境界

#### 3.1.1 境界等

分類 コード	線 号	名 称	編 纂 基 準
1101	3	都府県界	編纂無し
1103	2	郡市・東京都の区界	
1104	2	町村・指定都市の区界	
1105	2	旧市町村界	
1106	1	大字界	
1110	1	所属界	
1121	3	県界（海上）	
1123	2	市界（海上）	
1124	2	町界（海上）	
1126	2	旧市町村界（海上）	

## 5.2 交通施設

### 5.2.1 道路

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
2101	1	真幅道路	編纂無し
2103	2	徒歩道	平地にある徒歩道は集落間を連絡している主要な徒歩道を除いて適宜削除する。山地においては編纂なし。
2106	1	庭園路	公園、神社、学校、工場等の敷地内道路及び自動車の通行を規制している住宅団地内の道路並びに歩行者・自転車専用道路及び飛行場の滑走路に適用し、その幅員が3m以上となるものを表示する。
2107		トンネル内の道路	削除
2109	1	建設中の道路	幅員が3m以上となるものを表示する。
<p>注1) かきと真幅道路が重複しており、かきを削除した場合、真幅道路を間断しない。</p> <p>注2) 徒歩道を削除の場合、植生界又は区域界等の役割を兼ねている場合は、植生界又は区域界として残す。</p> <p>注3) ケバ・かき等が削除されることによって庭園路の連続性を損なわないように注意する。</p> <p>注4) ケバ・かき等が削除されることによって建設中道路の連続性を損なわないように注意する。</p>			

### 5.2.2 道路施設

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
2203	特1	道路橋	延長10m未満は削除する。橋ティック(補助線)はすべて削除する。
2205		徒橋	削除
2211	0	横断歩道橋	大規模なもの(20m以上)以外は削除する。
2213	0	歩道	幅員3m未満は削除する。
2214	0	石段	長さ10m未満、幅員4m未満は消す。 段部の間隔は3mとする。
2215		地下街・地下鉄等出入口	削除
2219	1	道路のトンネル	道路幅8m以上は真形ラインで残し(編纂なし)、8m未満は極小ブロック記号で表示する。
2226	0	分離帯等	編纂無し
2228		道路の雪覆い等	削除
2238	0	並木	長さが概ね100m以上のものは表示する。
<p>注1) 横断歩道橋を削除後した場合、道路・歩道・分離帯を実線取得する。</p> <p>注2) 石段を削除した際に、道路、庭園路などを兼ねている場合、その地物を補う。</p> <p>注3) 石段を削除した場合、両脇に射影地物があれば射影地物をつなぐ。</p>			

### 5.2.3 鉄道

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
2301	2	普通鉄道	編纂無し
2303	2	路面の鉄道	
2305	1	特殊軌道	
2306	1	索道	小規模なものは適宜削除する。
2309	特 2	建設中の鉄道	編纂無し

### 5.2.4 鉄道施設

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
2401	特 1	鉄道橋	編纂無し
2411	特 1	跨線橋	
2419	1	鉄道のトンネル	トンネル幅 8m 以上は真形ラインで残し(編纂なし)、8m 未満は極小ブロック記号で表示する。
2421		停留所	削除
2424	1	プラットホーム	編纂無し
2428		鉄道の雪覆い等	削除
注1) プラットホームが複雑な形状の場合は、適宜外周のみの簡略表現とする。			

## 5.3 建物等

### 5.3.1 建物

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
3001	1	普通建物	面積が 16 m <sup>2</sup> 以下の建物は削除する。
3002	特 1	堅牢建物	
3003	1	普通無壁舎	
3004	特 1	堅牢無壁舎	

### 5.3.2 建物付属物

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
3401	1	門	大規模なものを除いて削除する。
3402	1	屋門	

## 5.4 建物等

### 5.4.1 建物記号

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
3503	特 1	官公署	編纂無し(基本的に注記取得)
3504	特 1	裁判所	
3505	特 1	検察庁	
3507	特 1	税務署	
3509	特 1	郵便局	
3510	特 1	森林管理署	
3515	特 1	交番	削除 ※注記から記号への編纂あり
3516	特 1	消防署	編纂無し(基本的に注記取得)
3517	特 1	職業安定所	
3519	特 1	役所・役場・支所・出張所	
3521	2	神社	削除 ※注記から記号への編纂あり
3522	2	寺院	
3523	2	キリスト教会	
3524	1	学校	編纂無し(基本的に注記取得)
3525	1	幼稚園・保育園	
3526	1	公会堂・公民館	削除 ※注記から記号への編纂あり
3531	特 1	保健所	編纂無し(基本的に注記取得)
3532	特 1	病院	削除 ※注記から記号への編纂あり
3534	特 1	銀行	編纂なし
3536	1	協同組合	削除 ※注記から記号への編纂あり
3545	特 1	倉庫	建物の大きさが 20m×20m 未満相当のものは記号を削除する。 ※注記から記号への編纂あり
3546		火薬庫	削除
3548	特 1	工場	敷地の大きさが 100m×100m 未満相当のものは記号を削除する。 ※注記から記号への編纂あり
3550	特 1	変電所	編纂無し ※注記から記号への編纂あり
3556	1	揚排水ポンプ場	削除 ※注記から記号への編纂あり
3560		ガソリンスタンド	削除
注1) 建物記号削除に伴い、指示点の削除も忘れないこと 注2) シンボルサイズ変更に伴い、適宜記号の配置移動が必要 注3) 1 万分1地形図図式で規程されていない協同組合・揚排水ポンプ場については、特記として適用する。			



## 5.5 小物体

### 5.5.1 小物体

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
4201	特 1	墓碑	著名なものの又は好目標となる墓碑（注記表示のある）は表示し、他の墓碑は削除する。 墓地については、適宜記号の間引きを必要
4202	1	記念碑	著名なものの又は好目標となるもの（注記表示のある）は表示し、他のものは削除する。
4203	特 1	立像	
4204		路傍祠	削除
4205		灯ろう	
4207	1	鳥居	真形ラインで取得されたものを表示し、脚部の間隔が 3m 以上のものを適用する。 鳥居が連続して重なる場合は適宜削除する
4219	1	坑口	記号取得のものはすべて削除する。 河川幅 8 m 以下の真形ラインは記号へ変更する。
4221		独立樹（広葉樹）	削除
4222		独立樹（針葉樹）	
4225		油井・ガス井	
4228	1	起重機	軌道敷設範囲の広さが 100m×100m 以上のものを表示する。
4231	1	タンク	直径又は一辺が 5m 以上のものを表示する。 記号取得のものはすべて削除する。
4234	1	煙突	小規模のものは適宜削除する。
4235	特 1	高塔	小規模のものは適宜削除する。ただし、送電線のつながりのあるものは削除しない。 真形ラインで 8 m×8 m 未満のものは記号へ変更する。
4236	1	電波塔	小規模のものは適宜削除する。
4241	1	灯台	
4243	1	灯標	
4251		水位観測所	削除
4261	1	輸送管（地上）	長さ 30m 未満は削除、一条線に変更する（中心線）
4262	1	輸送管（空間）	長さ 30m 未満は削除する。
4265	1	送電線	編纂無し
注 1）工場等の輸送管（空間）を削除した場合、輸送管下の建物等の編集を適宜行うこと			

## 5.6 水部等

### 5.6.1 水部

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
5101	1	水涯線	水路幅 2 m 未満は一条河川へ変更する。 10m×10m 未満の貯水池は削除する。
5102	1	一条河川	平地部（特に密集地）は削除し、山地については適宜編纂する。
5103	1	かれ川	小規模のものは適宜削除

5121	1	海岸線	編纂無し
<p>注1) 水涯線から一条河川へ編纂した際には、他の地物に平行に配置され、それと重なるものは省略する。</p> <p>注2) 山間部にある水涯線（一条河川）は山から河川、湖池、海に流れ込むもの以外は削除する。</p> <p>注3) 学校のプールは削除しない。</p> <p>注4) 水涯線から一条河川への変更に伴うポリゴン編集は行わない。</p> <p>注5) 一条河川で植生界又は区域界等の役割を兼ねている場合は、一条河川を削除した際に植生界又は区域界へ適宜変更する。</p>			

## 5.6.2 水部に関する構造物

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
5203		栈橋（木製）	削除
5221	1	渡船発着所	小規模なものは適宜削除する。
5226	1	滝	記号取得されているもの及び長さ（河川幅）10m未満の真形ラインは削除
5227	1	せき	
5228	1	水門	
5232	1	透過水制	長さ（河川幅）10m 未満のものは削除
5239		敷石斜坂	削除
5241	2	流水方向	幅員 8m 未満の河川にあるもの削除する。
<p>注1) 栈橋（木製）・滝・せき・水門を削除した場合、水涯線を適宜編集する。</p> <p>注2) 流水方向は適宜間引きする。</p>			

## 5.7 構図等

### 5.7.1 構図等

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
6101	1	人工斜面	長さ 50m 以上、上下幅 15m 以上のものを目安として表示する。
6102	1	土堤等	小規模のものは適宜削除する。
6110	1	被覆(直)	長さ50m未満は削除する。
	1	被覆(上)	上端線・下端線については、上下幅5m未満については、被覆(直)へ変更する。
	1	被覆(下)	河川の被覆は河川幅 10m 未満を削除する。
	1	被覆(円)	山にある小規模な堰堤は削除する(25m 未満を目安)
6130	1	かき	大規模な工場、公園、その他表現上必要となる施設において、長さ 100m 以上を目安として表示する
6140	1	へい	

注1) 人工斜面・被覆を削除した場合、適宜等高線を実線表示へ変更する。

注2) 植生界・区域界等の役割を兼ねている場合は、人工斜面・被覆削除に伴い適宜編集を行う。

注3) 人工斜面のケバティックの再発生は行わない。

注4) 被覆の内部円記号は、上下幅 10m 以上に対して取得し、20m×5m で取得する。

## 5.8 場地

### 5.8.1 場地

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
6201	1	区域界	場地記号削除に伴い、適宜削除する。
6212		駐車場	削除
6214	1	園庭	大規模な公園や工場の中にあるもの以外は適宜削除する。
6216		材料置場	削除
6221		噴火口・墳気口	
6222		温泉・鉱泉	

## 5.9 植生

### 5.9.1 植生

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
6301	1	植生界	30m×30m以上を目安とし適宜編集する。
6302	1	耕地界	
6311	1	田	
6313	1	畑	
6314	1	さとうきび畑	
6315	1	パイナップル畑	30m×30m以上を目安とし適宜編集する。
6317	1	桑畑	
6318	1	茶畑	
6319	1	果樹園	
6321	1	その他樹木畑	
6323	1	芝地	主にゴルフ場、大規模な公園等で表記し、適宜編集する。
6331	1	広葉樹林	山地にある植生記号の配置は約 100m 間隔を目安にして適宜間引く。 小規模の宅地内や小規模の公園や工場内の広葉樹林・針葉樹林は削除する。
6332	1	針葉樹林	
6333	1	竹林	
6334	1	荒地	山地にある記号の配置は約 100m 間隔を目安にして適宜間引く。 平地部については、30m×30m 以上を目安とし適宜編集する。
6335	1	はい松地	山地にある記号の配置は約 100m 間隔を目安にして適宜編集する。
6336	1	しの地	
6337	1	やし科樹林	
6338	1	湿地	適宜編集する
6340	1	砂れき地	

## 5.10 地形

### 5.10.1 等高線

分類コード	線号	名 称	編纂基準
7101	特 1	等高線(計曲線)	計曲線間隔を 50m、主曲線間隔を 10mとする
7102	0	等高線(主曲線)	
7103	0	等高線(補助曲線)	主曲線だけでは傾斜の緩い斜面等の表現が困難な場合に表示する。
7105	特 1	凹地(計曲線)	等高線(計曲線、主曲線)と同様の扱い
7106	0	凹地(主曲線)	
7107	0	凹地(補助曲線)	等高線(補助曲線)と同様の扱い
7199	1	凹地(矢印)	適宜編纂する

### 5.10.2 変形地

分類 コード	線号	名 称	編 纂 基 準
7201	1	土がけ	長さ 50m以上、上下幅 10m以上のものを目安として表示する。
7202	1	雨裂	適宜編纂する
7206	1	洞口	
7211	1	岩がけ	長さ 50m以上、上下幅 10m以上のものを目安として表示する。
7212	1	露岩	削除適宜編纂する
7213	1	散岩	
7214	1	さんご礁	
注 1) 削除に伴い適宜等高線を実線表示へ変更する。			
注 2) 植生界・区域界等の役割を兼ねている場合は、削除に伴い適宜編集を行う。			
注 3) 適宜補助ティック線を再取得する。			

## 5.11 基準点

### 5.11.1 基準点

分類コード	線号	名 称	編纂基準
7301	1	三角点	編纂無し
7302	1	水準点	
7303	1	多角点及び標石を有する図根点等	
7304	1	公共基準点(三角点)	
7305	1	公共基準点(水準点)	
7308	1	電子基準点	
7311	1	標石を有しない標高点	(平地部) 300～400mの間隔を目安に間引きする。 (山間部) 傾斜の緩やかな尾根等で適宜表示する。
7312	1	図化機測定による標高点	
8199	1	指示点	適宜削除する
<p>注 1) 基準点数値の配置移動を適宜必要とする</p> <p>注 2) 平地においては、標石を有しない標高点及び道路交差点部を優先取得する</p>			

## 5.12 注記

### 5.12.1 注記

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準	字大
8110	2	市・東京都の区	表示	3.5mm
8111	2	町・村・指定都市の区		3.0mm
8112	1	市町村の飛地		2.0mm
8113	1	大区域		2.5mm
8114	特1	大字・町・丁目		2.5mm
8115	1	小字・丁目		2.0mm
8116	1	通り		2.5mm
8121	特1	道路の路線名		2.5mm
8122	1	道路施設等		2.0mm
8123	特1	鉄道の路線名		2.5mm
8124	1	鉄道施設等		2.0mm
8125	1	橋	主に国道・県道をメインに表示する。ただし、他の地形の妨げとならなければ適宜表示する。	2.0mm
8126	1	トンネル	表示	2.0mm
8131	1	一般の建物名	[商業施設] 大型ショッピングセンター、大型宿泊施設等の表示 150m×150m相当以上の規模を目安とする [協同組合] JAは本店相当の規模又は大規模な集荷場を表示する。支店は記号へ変更する。他の協同組合は規模に応じて適宜記号へ変更する。 [工場・倉庫建物] 150m×150m相当以上の敷地規模のものは表示し、それ以下は記号へ変更する。 [寺院・神社・教会] 小規模なもの(10m×10m 未満を目安)及び周辺地形の妨げとなるものは、記号へ変更する。 [銀行・信用金庫] 支店は記号へ変更する。	2.0mm
8132	1	病院建物名	中小規模の病院は記号へ変更する。	2.0mm
8133	1	警察建物名	表示	2.0mm
8134	1	消防建物名	表示	2.0mm
8135	1	郵便建物名	簡易郵便局は記号へ変更する。	2.0mm
8136	1	駅舎建物名	表示	2.0mm
8137	1	その他公共施設	小規模な公民館及び集会所は記号へ変更する。小規模な公営住宅・団地は適宜削除する。	2.0mm
8138	1	学校建物名	幼稚園・保育園については記号へ変更する。	2.0mm
8139	1	NTT 建物名	表示	2.0mm
8142	1	小物体	著名なもの及び他の地物の妨げとならない史跡・名勝平地部の一条河川・用水路・準用河川及び山間部の一条河川・沢については適宜削除する。小規模な池は説明注記Wへ変更する。	2.0mm
8151	特1	水部	一条河川・沢については適宜削除する。小規模な池は説明注記Wへ変更する。	2.5mm
8152	1	水部施設	小規模な揚排水機場・ポンプ場は、適宜削除する。	2.0mm
8162	1	諸地・場地	小規模な墓地は適宜記号へ変更する。駐車場は適宜削除する(記号へは変更しない)。	2.0mm
8163	1	植生	公園・広場等は規模に応じて削除及び省略表記(固有名称を無くして「公園」「広場」と表示)する。グラウンド・テニスコート・ゲートボール場は適宜削除	2.0mm

			する。	
8171	1	山地	表示	2.0mm
8173	1	標高注記	標高点の編纂に伴い適宜削除する。 山間部の等高線標高値は編纂後の計曲線(50m単位)について表示し、300m程度の間隔を目安に表示する。平地部は特に必要な箇所において表示する。	1.5mm,1.0mm
8181	1	説明注記	適宜削除する。 ①池のW、大規模な(工事中)・(建設中)・(土)・(岩)等の表示を基本とする。 ②学校のプールは削除する。 ③小規模の貯水槽・ため池のWは削除する。	1.5mm
注1) 各市町で 1/1 万縮小図を整備してあれば、旧図面の取得状況を優先すること。				

## 5.13 境界補助線（2500DM特記コード）

### 5.13.1 境界補助線

分類コード	線号	名 称	編 纂 基 準
9001		道路境界補助線	削除
9002		トンネル境界補助線	
9011		水域境界補助線	
9031		公園境界補助線	

## 5.14 セントロイド（2500DM特記コード）

### 5.14.1 セントロイド

分類コード	線号	名 称	編纂基準
9801		高速道路セントロイド	削除
9802		直轄国道セントロイド	
9803		県管理国道セントロイド	
9804		主要地方道セントロイド	
9805		一般県道セントロイド	
9809		その他道路セントロイド	
9811		高速道路セントロイド (トンネル内)	
9812		直轄国道セントロイド (トンネル内)	
9813		県管理国道セントロイド (トンネル内)	
9814		主要地方道セントロイド (トンネル内)	
9815		一般県道セントロイド (トンネル内)	
9819		その他道路セントロイド (トンネル内)	
9821		水域セントロイド	
9831		行政区(市)セントロイド	
9832		行政区(町)セントロイド	

## 6. DM データファイルの仕様

DM データファイルは、地図情報レベル 2500 と同様に作成する。原則公共測量作業規程に準ずるため、ここではインデックスレコード及び図郭レコードについて記載する。

### 6.1 インデックスレコード

(A)

NO	フィールド名		文字 半全	バイト		固 定 値 (△はスペース) (▲は図郭毎に設定)	備 考
				開 始	終 了		
1	レコードタイプ		半	1	2	I△	I△固定 (△はスペース)
2	座標系		半	3	4	△6	6 系 (△はスペース)
3	計画機関名		全	5	34	三重県	
4	図郭数		半	35	37	25	
5	図郭識別番号レコード数		半	38	39	3	
6	使用分類コード数		半	40	43		DM データから
7	転移処理フラグ		半	44	44	0	0 : 行っていない
8	間断処理フラグ		半	45	45	1	1 : 行っている
9	使用した 作業規程	西暦年号	半	46	49	2010	
10		作業規程名	全	50	79	三重県自治会館組合作業規程	公共測量作業規程の略称を入力する
11	バージョン		半	80	80	1	
12	空き領域区分		半	81	81	0	
13	空き領域			82	84	-	

(B)

NO	フィールド名		文字 半全	バイト		固 定 値 (△はスペース) (▲は図郭毎に設定)	備 考
				開 始	終 了		
1	図郭識別番号 (1)		半	1	8		7 桁
2	図郭識別番号 (2)		半	9	16		
3	図郭識別番号 (3)		半	17	24		
4	図郭識別番号 (4)		半	25	32		
5	図郭識別番号 (5)		半	33	40		
6	図郭識別番号 (6)		半	41	48		
7	図郭識別番号 (7)		半	49	56		

8	図郭識別番号 (8)	半	57	64		
9	図郭識別番号 (9)	半	65	72		
10	図郭識別番号 (10)	半	73	80		
11	空き領域	-	81	84	-	

※図郭識別番号の数だけレコードを繰り返す

(C)

NO	フィールド名		文字 半全	バイト		固 定 値 (△はスペース) (▲は図郭毎に設定)	備 考
				開 始	終 了		
1	使用分類コード		半	1	4		1・2 は同じ値とする
2	標準の分類コード		半	5	8		
3	使用データ タイプフラグ	面	半	9	9		0 : 使用していない 1 : 使用している
4		線	半	10	10		
5		円	半	11	11		
6		円弧	半	12	12		
7		点	半	13	13		
8		方向	半	14	14		
9		注記	半	15	15		
10		属性	半	16	16		
11		グリッド	半	17	17		
12	方向規定区分		半	18	18	0	0 : 本規程に準拠 1 : 別途定めて使用
13	座標次元区分		半	19	19	2	0 : 特に定めない 2 : 2次元 3 : 3次元
14	内容記述		全	20	84		特別に定めた場合のみ

※取得分類の数だけレコードを繰り返す



## 6.2 図郭レコード

(A)

NO	フィールド名	文字 半全	バイト		固 定 値 (△はスペース) (▲は図郭毎に設定)	備 考
			開 始	終 了		
1	レコードタイプ	半	1	2	M△	M△固定
2	図郭識別番号	半	3	10	▲	例) 06MC*** (7桁) ～09ND*** アルファベットは大文字
3	図郭名称	全	11	30	▲	図郭識別番号を6桁 全角で入力 例) 0 6 P F 1 A
4	地図情報レベル	半	31	35	10000	
5	タイトル名	全	36	65	三重県共有デジタル地図	
6	修正回数	半	66	67	0 ▲	新規 修正
7	バージョン	半	68	68	1	
8	空き領域区分	半	69	69	0	
9	空き領域	-	70	84	-	

(B)

NO	フィールド名		文字 半全	バイト		固 定 値 (△はスペース) (▲は図郭毎に設定)	備 考
				開 始	終 了		
1	左下図郭座標	X (m)	半	1	7	▲	右詰め
2		Y (m)	半	8	14	▲	
3	右上図郭座標	X (m)	半	15	21	▲	
4		Y (m)	半	22	28	▲	
5	空き領域		半	29	31	-	
6	要素数		半	32	37	▲	
7	レコード数		半	38	44	▲	
8	座標値の単位		半	45	47	△10	「cm」単位
9	左上図郭座標	X (m)	半	48	54	▲	右詰め
10		Y (m)	半	55	61	▲	

11	右下図郭座標	X (m)	半	62	68	▲	
12		Y (m)	半	69	75	▲	
13	空き領域		-	76	84	-	

(C)

NO	フィールド名	文字 半全	バイト		固 定 値 (△はスペース) (▲は図郭毎に設定)	備 考
			開 始	終 了		
1	隣接図郭識別番号 (1)	半	1	8	▲	例) 0 9 M C 5 4 (6桁) アルファベットは大文字  隣接になれば空白
2	隣接図郭識別番号 (2)	半	9	16	▲	
3	隣接図郭識別番号 (3)	半	17	24	▲	
4	隣接図郭識別番号 (4)	半	25	32	▲	
5	隣接図郭識別番号 (5)	半	33	40	▲	
6	隣接図郭識別番号 (6)	半	41	48	▲	
7	隣接図郭識別番号 (7)	半	49	56	▲	
8	隣接図郭識別番号 (8)	半	57	64	▲	
9	空き領域	-	65	84	-	

(D)

NO	フィールド名	文字 半全	バイト		固 定 値 (△はスペース) (▲は図郭毎に設定)	備 考
			開 始	終 了		
1	作成年月	半	1	4	1306	納品年月
2	現地調査年月	半	5	8	1205	現地調査年月(新規のみ)
3	撮影コース数	半	9	9	▲	(新規のみ)
4	レコード数	半	10	10	▲	(f) のレコード数
5	入力機器名	全	11	40	〇〇〇	
6	公共測量承認番号	全	41	70	△	
7	測地成果識別コード	半	71	71	1	世界測地系で作成
8	図郭識別コード	半	72	72	0	
9	変換手法識別コード	半	73	73	0	
10	空き領域	-	74	84	-	

(E)

NO	フィールド名		文字 半全	バイト		固 定 値 (△はスペース) (▲は図郭毎に設定)	備 考
				開 始	終 了		
1	作業機関名		全	1	40	共有 DM 共同体	
2	左下図郭座標	X (cm)	半	41	44	空白 もしくは 0	基本は空白 ただし 0 でも OK
3		Y (cm)	半	45	48	空白 もしくは 0	
4	右上図郭座標	X (cm)	半	49	52	空白 もしくは 0	
5		Y (cm)	半	53	56	空白 もしくは 0	
6	左上図郭座標	X (cm)	半	57	60	空白 もしくは 0	
7		Y (cm)	半	61	64	空白 もしくは 0	
8	右下図郭座標	X (cm)	半	65	68	空白 もしくは 0	
9		Y (cm)	半	69	72	空白 もしくは 0	
10	空き領域		-	73	84	-	

(F)

NO	フィールド名		文字 半全	バイト		固 定 値 (△はスペース) (▲は図郭毎に設定)	備 考
				開 始	終 了		
1	撮影	コース番号	半	1	4	△	地図編集の為不要
2		年月	半	5	8	△	同上
3	写真	縮尺	半	9	13	△	同上
4		枚数	半	14	14	△	同上
5	写真番号	始点	半	15	18	△	
6		終点	半	19	22	△	
7	撮影	コース番号	半	23	26	△	同上
8		年月	半	27	30	△	
9	写真	縮尺	半	31	35	△	
10		枚数	半	36	36	△	
11	写真番号	始点	半	37	40	△	
12		終点	半	41	44	△	
13	撮影	コース番号	半	45	48	△	
14		年月	半	49	52	△	
15	写真	縮尺	半	53	57	△	
16		枚数	半	58	58	△	

17	写真番号	始点	半	59	62	△	
18		終点	半	63	66	△	
19	空き領域		-	67	84	-	